

平成二十几年



【岸田文雄季刊誌】

Fumio Kishida DETAILED REPORT MAGAZINE
[自由民主党広島県第一選挙区支部]

Contents



- ○G7広島外相会合を終えて
- ○G7広島外相会合を写真で振り返る
- ○核軍縮及び不拡散に関するG7外相広島宣言



## 核軍縮及び不拡散に関するGフ外相広島宣言 平成28年4月11日

我々は、世界にかつてない恐怖をもたらした第二次世界大戦から71年を経て、我々が広島で会合することの重要性を強調する。 広島及び長崎の人々は、原子爆弾投下による極めて甚大な壊滅と非人間的な苦難という結末を経験し、そして自らの街をこれほどまで に目覚ましく復興させた。

この歴史的会合において、我々は、国際社会の安定を推進する形で、全ての人にとりより安全な世界を追求し、核兵器のない世界に向けた環境を醸成するとのコミットメントを再確認する。この任務は、シリアやウクライナ、そしてとりわけ北朝鮮による度重なる挑発 行為といった、多くの地域における悪化する安全保障環境によって一層複雑なものとなっている。

我々は、EU3+3とイランとの間の包括的共同作業計画(JCPOA)の合意及び継続的な履行を歓迎する。これは、核兵器不拡散条約(NPT)が国際的な不拡散体制の礎石として強靱であることを示している。我々は、JCPOAが完全にかつ厳格に履行され、また、そのために国際原子力機関(IAEA)の検証活動が鍵となるとの決意を有している。

我々は、全ての側面において、我々のNPTへの強いコミットメントを強調する。我々は、未だNPTの締約国となっていない国々に対し、遅滞なくかつ無条件で加入するよう求める。我々は、NPTの三本柱(不拡散、軍縮及び原子力の平和的利用)全てにわたり、その規定の完全な履行を強く支持する。我々は、IAEA及びその保障措置制度の中心的役割を再確認する。

いかなる国も核兵器の実験的爆発を行うべきではなく、包括的核実験禁止条約(CTBT)の早期発効を達成すべく、全ての国は 遅滞なくかつ無条件でCTBTに署名・批准すべきである。優先事項として、我々は、ジュネーブ軍縮会議に対し、核兵器又はその他 の核爆発装置に用いるための核分裂性物質の生産を禁止する条約についての交渉を即時に開始するよう要請する。

長年をかけて、核兵器国の核戦力は大幅に削減された。核兵器のない世界に向けた更なる進展は、単独であれ、二国間であれ、又は多国間であれ、我々が、国際安全保障を向上させつつ、断固とした、現実的な、そして漸進的なアプローチをとることのみにより達成できる。NPT第6条に従い、我々は、今後も世界規模での継続的な核兵器の削減に関する永続的かつ積極的な支持者であり、全ての国に対してそのような努力をするよう要請する。

我々は、透明性を向上させたG7の核兵器国によりとられた努力を歓迎する。我々は、他国にも同様の行動を求める。

我々は、全ての国家に対し、核兵器国と非核兵器国との間を含む、全ての国家間での核 軍縮・不拡散に関する有意義な対話を促進することができる実践的かつ現実的なイニシ アティブに関して我々と協働するよう求める。

国家主体及び非国家主体への大量破壊兵器の拡散を阻止するため、機微な品目及び 技術に関する各国の輸出管理を引き続き強化することは極めて重要である。全ての国 は、国連安全保障理事会決議 1 5 4 0 号を含む全ての関連の国連安保理決議を完全に 履行しなければならない。我々は、全ての国に対し、国際的な輸出管理レジームのガイド ラインに整合した形で輸出管理を執行することにより、不拡散という目標に貢献するよう 呼びかける。

我々は、2016年核セキュリティ・サミットの最終コミュニケ及びアクション・プランを 積極的に実施し、本分野における I A E A の中心的役割を支持していく。

我々は、原子力の平和的利用にコミットし、引き続き I A E Aと協力し、最高水準の不拡散、原子力安全及び核セキュリティを推進していく。

何十年間にわたって、我々のような政治指導者やその他の訪問者が広島及び長崎を訪れ、深く心を揺さぶられてきた。我々は、他の人々が同様に訪問することを希望する。 我々は、核兵器は二度と使われてはならないという広島及び長崎の人々の心からの強い 願いを共にしている。



## **岸田文雄後援会事務所** ●国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館1222号室 TEL (03) 3508-7279 (直通) FAX (03) 3591-3118

●広島事務所

〒730-0013 広島市中区八丁堀6-3 和光八丁堀ビル9階 TEL (082) 228-2411 (代表) FAX (082) 223-7161

●岸田文雄ホームページ http://www.kishida.gr.jp/

ケータイ用サイトQRコード



## 岸田文雄プロフィール

昭和32年生まれ。早稲田大学法学部卒業後、㈱日本長期信用銀行等を経て、平成5年の衆 際議員終選挙において初当選。以後8期連続当選中。

自民党青年局長・商工部会長・経理局長、建設政務次官・文部科学副大臣、衆議院厚生労働 委員長などを歴任後、平成19年の第一次安倍改造内閣において内閣府特命担当大臣(沖縄 担当など)で初入閣。初代消費者行政推進担当大臣として消費者庁新設の土台を作る。

平成23~24年にかけて野党自民党において国会対策委員長として指揮をとり、与党に対して厳しい国会追及を行い、解散に追い込む。

また24年には保守本流の政策集団である「宏池会」の会長に就任する。

平成24年に発足した第二次安倍内閣において外務大臣として入閣。現在の第三次安倍改造内閣まで一貫して再任され、戦後外務大臣の在任期間歴代4位、平成の外相としては最長となっている。



∭ 広島市中区八丁堀六ー三 和光八丁堀ビ4王党広島県第一選挙区支部「翔」編集室翔」六十六号 発行 平成二十八年四月二十五日

会合になったと受け

止めています。

## G7広島外相会合を終えて 外務大臣

を得て、国際社会が直面する喫緊の課題、また G7広島外相会合において、各国外相の協力 主要な地域情勢について、率直に、そして白熱 今回のG7広島外相会合はまさに歴史的な 、充実した議論を行うことができま 十一日の二日間にわたり開催した

様方に改めて感謝を申し上げます。 **晋遍的価値を共有している枠組みです。これま** の一体性、更には基本的人権の尊重といった G7は、民主主義・法の支配・市場経済・領 参加いただいた各国外相、そして関係者の皆

での国際社会の安定と繁栄は、これらの価値

の結果生じた難民問題について議論し、テロリ の最たる例であるテロ・暴力的過激主義や、そ G7が主導して どを非難すること、そして国際社会の取組を ストによる無差別の攻撃、あるいは残虐行為な 今般の外相会合では、まずそのような挑戦 また地域情勢では、中東情勢、そしてウクラ 動による挑戦に直面しています。 日その国際秩序が、現状を変更する一方的な 台とする秩序の産物と言えます。 いくことで一致しました。 しか

開催されるG7会合ということもあり、北朝 ナ情勢についてG7として連携を強化する だいた結果、資料館を出るまでに五十 変大きなインパクト も当初は予定時間三十 の献花、さらには原爆ド 長い時間を要することとなりました。 和記念資料館訪問及び原爆死没者慰霊碑 分であり

ど、国際秩序の安定を損なう行動が見られる

外相並んで写真撮影に収まる際に、「ぜひ

題、海洋での緊張を高める一方的な現状変更な

ル発射・拉致問

ことを確認しまれ

国外相が一つ一つ大変丁寧に熱心に見ていた な感想が述べられました。「心を動かされた」 「大変強い印象を受けた」といった声が口々に 外相達と共に資料館を訪問する中で様々 さらに平和公園での献花をした後の各国 した。これらの行程はG7各国外相には大 G7外相に被爆の実相に触れていただき した。また原爆資料館の視察 があったと感じています ムへの訪問を行

> 国際秩序の分 るかは、今後の にいかに対処す 論した諸課題

間で議

が直面する課題への対応も、次の世代が我々 の築き上げた価値に基づく秩序を享受する ために重要な課題です。 軍縮・不拡散をめぐる現状は大変厳し そして軍縮・不拡散といった、国際社会

軍縮に関する力強いメッセージ「広島宣言」を は、しぼんでいる「核兵器のない世界」に向け 上で、大変重要です。そのような考えの下、 た機運を再び盛り上げ、取組を再起動す て、国際社会にメッセージを発出し、双方の協 要です。その双方が含まれるG7が一体となっ 今こそ核兵器国と非核兵器国との協力が 出することとなり の具体的な在り方を国際社会に示すこと 同時に今回、G7外相による史上

初の広島 の機運を再び盛り

ではない 言という核兵器国と非核兵器国が協力 は、必ずや「核兵器のない世界」に向けて

霊碑の前から歩いて原爆ドー ことでした。「五分ほど歩くが良いか?」と 突然上がりました。全く予定のなかった レンジし、各国外相揃って平和公園の慰 ぐに対応できるか心配したが、すぐにア う確認や、また警備の関係があるため けるのか?」という声が ムに行くこ

外相側からぜひ見てみたいという 全く予定のなかったことでしたが、 強い意 G

G7の外相たちに強いインパクトを与え られた一つの例ではないかと感じていま 向が示されことも、今回の訪問と視察が しまとめた文書を発出できたこと た訪問と相まって、

広島外相会合

ょう。今回の 点となるで

するG7とし な価値を共有 を基に、普遍的

て、国際社会の

とができました。

ことができることを議長として大変喜ばしく

した。 G 7

して力強いメッセージを国際社会に発信する

岸田文雄

つき、議長として満足して は予定時間を大幅にオーバ 議論のほとんどにおいて、大変率直で、自 を振り返ると、今回のG7外相会合におけ 立たせていただきましたが、その立場から議論 た真剣な議論が行われたと感じています。時に あり、政治指導者としての見識をしっかり 今回議長を務め、議論を 改めて今回G7外相会合の場となった広島 した。大変充実した議論であったことに います し、激しい議論も る立

G7広島外相会合 平成28年4月10日~11日

平成28年4月10日~11日、G7広島外相会合が行われました。この間、全体会合や二国間会談などが行われた G7外相が厳島神社や平和記念公園を訪問し、平和と希望の象徴である広島の魅力と、そして被爆の実相を肌で 感じてもらうことができました。



























全保障に関する声明』を発出 書として『軍縮・不拡散に関する声明』『海洋安 ニケ』『広島宣言』に加え、コミ 向けた取組を主導していきたいと考えており

よろしくお願い致し